

第2回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成24年4月25日（金）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐
清水雅彦学長補佐、田中昌弥学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長
新保祐司国文学科長、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長
杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、小林正人学生課長
重原達也総務課長

欠席者：田中一利理事

■挨拶

加藤祐三学長よりあいさつ

*評価担当の学長補佐について

不在であった評価担当の学長補佐について、今年度から初等教育学科の田中昌弥先生に務めてもらうことになった。他の学長補佐の任期は今年度で終わりであるが、年度を跨いで次年度も学長補佐を務めてもらう。（任期：2年間）

議 事

(1) 初等教育学科に中学校教諭免許課程を設置する方針（案）について

○担当より資料1に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・初等教育学科の学生の選択の幅が広がるので、中学校教諭免許課程を設置するのは良いと思う。また、教育実習後の話合いで中学校の教員から「都留文科大学で中学校教諭免許が取れるようになることを切望している」というような意見もあった。美術系、音楽系の学生に関しても免許状を出してあげたいレベルの学生が多くいるので、今後はそれも含めて検討していけたらと思っている。
- ・「今の段階で100%設置はできるのか、また今の在学生でも取得が可能か」という意見に対して、中教審からは「特色がある大学」という評価を受けているので大きな武器であると考えられるが、実験室や準備室などの設備面に関しては対応が必要になるかも知れない。在学中の取得に関しては、次年度から設置が可能となれば3年次学生からは単位の取得が可能になると考えられる。

(2) 平成24年度非常勤講師（初等教育学科：体育系1件、美術系2件）採用の発議・提案について

○担当より資料2-1、2-2に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・野外体育実技(キャンプ)、体育Ⅰ・Ⅱ(キャンプ) 1名
- ・彩画実技:前期、基礎彩画実技:通年(前期) 1名、素描実技:通年(前期) 1名

*美術系2名の非常勤講師に関しては、専任教員の病状を見ながら後期も担当してもらうか検討する。
(まずは、前期分を担当してもらう。)

(3) 公立大学法人都留文科大学 平成23年度実績及び平成24年度年度計画(案)について

○担当より資料3に基づき説明、審議の結果、連休中に確認を各自ですてもらい、意見や修正等は経営企画室へメールで連絡をする。

- ・教育関係部分は教育研究審議会で審議する必要があるため資料として出ているが、経営部分については要望があれば個々に配布を行う。(経営部分の審議については経営審議会にて行う。)

(4) 平成25年度学外研究予定者(案)について

○担当より資料4に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・平成25年度の学外研究は、3.5人(通年で4人まで)の申し出が出ている。社会学科は2名が学外研究で不在になるため、学科でのフォローが重要になってくる。
- ・初等教育学科：(前期、国内)1名
国文学科：(通年、国内)1名
社会学科：(通年、国内)1名、(後期、国内・国外)1名
比較文化学科：(前期、国内)1名

(5) その他(職員就業規則及び職員懲戒規程について)

○担当より資料6に基づき説明、また改めて議事として取り上げる事となった。

- ・就業規則第25条第1項第3号、前各号に定めるもののほか、その職務に必要な適格性を欠く場合…懲戒規程第3条関係別表1-(13)イ・ウ
- ・懲戒規程第10条、職員のうち教員に係る懲戒処分については、あらかじめ教育研究審議会の議を経るものとする

3 報 告

(1) 平成24年度都留文科大学地震防災訓練実施基本方針(案)について

○担当より資料5に基づき報告。

日時：平成24年7月4日(水) 午前11時30分～午後0時20分まで

- ・災害応急対策が真に機能するよう、実践的な地震防災訓練をすることにより、学生・教職員等関係者の生命・身体・財産を守り、被害を最小に留めることができるよう、関係者の連携の強化、防災体制の整備及び防災意識の高揚等を図ることを目的とする。

- ・開始時間を午後0時からにしてはどうかという意見があり、時間については検討を行う。

また、ヘルメットについては7月4日までに教員分は揃うことになっている。(教員分だけあるのはおかしいという意見もあった。)教職員の役割分担については、委員会で検討している最中である。